

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻・准教授
氏名 Name	佐野方郁
専門分野 Academic Field	日本近現代史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①明治・大正時代の覚王山日暹寺に関する研究 ②京都の史学史に関する研究 ③倉富勇三郎日記研究 ④近現代日本の国際関係に関する研究
<p>①今年度は、昨年度までに引き続き、科学研究費補助金の交付を受けて、明治・大正時代の覚王山日暹寺に関する研究を継続し、『名古屋新聞』、『中外日報』、各宗派宗報の閲覧と必要箇所の複写を行うなど、各種文献の収集に努力した。また、その研究成果の一部として、「明治期の仏骨奉迎事業と覚王山日暹寺の創建—各宗派宗報と地方・宗教新聞の分析を中心に—」、『日本語・日本文化』第 45 号（2018 年）を発表した。</p> <p>②今年度は、昨年度に引き続き、同志社大学人文科学研究所嘱託研究員として、第 10 研究会「歴史学の成り立ちをめぐる基礎的研究—現場と公共性—」（代表は小林丈広同志社大学教授）に参加した。また、林屋辰三郎『角倉素庵』（吉川弘文館、2017 年）の解説として、『角倉素庵』を読む」を発表した。</p> <p>③平成 27 年度までで、平成 25 年度から採択されていた科学研究費補助金の助成は終わってしまったものの、今年度も引き続き、倉富勇三郎日記研究会（代表は永井和京都橘大学特任教授）の一員として、『倉富勇三郎日記』第 4 巻（国書刊行会）の刊行に向けて、編集作業に関与した。</p> <p>④今年度は、近現代日本の国際関係に関する研究を全面的に進めることはできなかったものの、①との関連で近代日本とタイとの関係について若干の資料収集を行った。</p>	